

証券コード 6730

# 株式会社アクセル

2012年3月期(第17期)

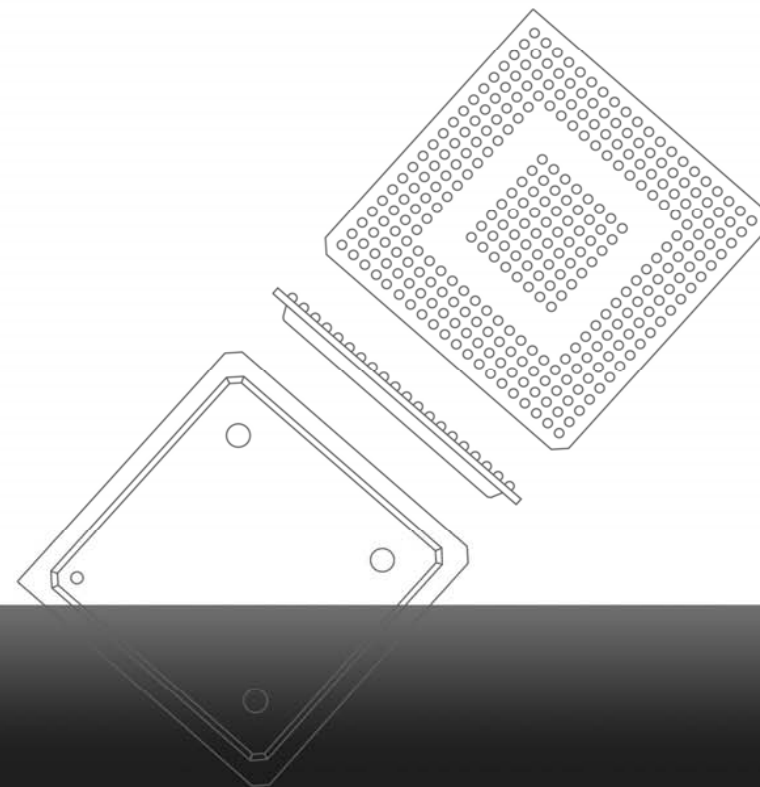
第1四半期決算説明会資料

代表取締役社長 佐々木 譲

開示担当取締役 千代 進弘

IRチーム 植野 悦匡

2011年7月26日



## 遊技機器市場の動向

低料金営業の普及等による遊技ホールの収益性の低下

定番機種・大型機種などの一部機種に需要が集中 → 総じて新台販売は低調

遊技機器メーカーのコスト削減施策 → 基板レベルでのリユース(AG301に影響)

第1四半期における東日本大震災の影響は、ほぼ想定の範囲内で推移

第2四半期以降、節電対応によるホールの輪番休業等の影響は注視が必要

---

パチスロ機の人気回復傾向

低料金営業の定着等により遊技人口が増加傾向

## 組み込み機器市場の動向

海外輸出の産業用機器(建機、医療機器等)向けの需要が増加

(単位:百万円)

	16期1Q	売上比	17期1Q	売上比	増減額	増減率
売上高	1,738	100%	1,943	100%	204	12%
売上原価	801	46%	852	44%	51	6%
売上総利益	937	54%	1,090	56%	153	16%
販売費及び 一般管理費	811	47%	573	30%	△238	△29%
営業利益	125	7%	517	27%	391	312%
経常利益	130	7%	523	27%	393	302%
当期純利益	79	5%	353	18%	273	344%

第17期1Q末受注残 : 2,189百万円

## 売上高1,943百万円(204百万円増収)の主な要因

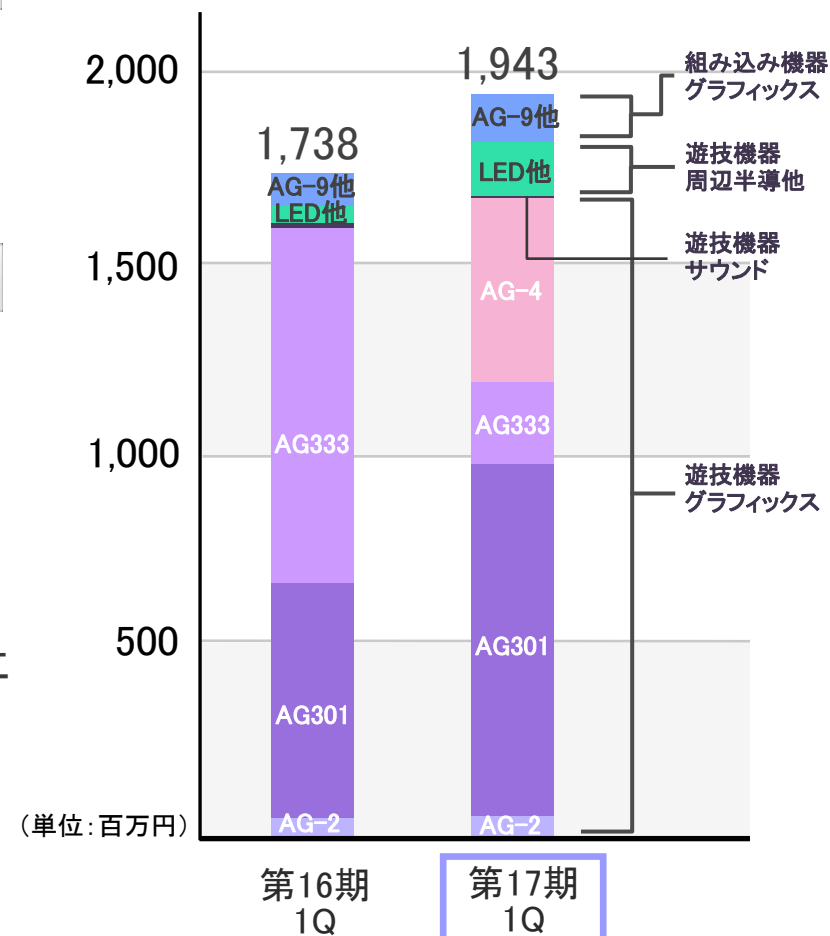
AMグラフィックスLSI: 1,670百万円(76百万円増)

- ・販売個数 : 29万個 → 31万個
- ・AG-4比率(0%→25%)※金額ベース(総売上比)

その他: 272百万円(128百万円増)

- ・サウンドLSI : AG333のサウンド機能取り込み、顧客の需要動向により減少
- ・LEDドライバLSI、メモリモジュール等 : 特定顧客の需要動向により増加
- ・EMグラフィックスLSI : 海外向け産業用機器の需要に牽引され増加

### 売上高(2期比較)



(単位:百万円)

	16期1Q	構成比	17期1Q	構成比	増減額	増減率
販売費及び一般管理費	811	100%	573	100%	△238	△29%
人件費	120	15%	124	22%	3	3%
研究開発費	496	61%	303	53%	△192	△39%
その他	193	24%	144	25%	△48	△25%

(単位:百万円)

研究開発費内訳	16期1Q	構成比	17期1Q	構成比	増減額	増減率
研究開発費 総額	496	100%	303	100%	△192	△39%
人件費	139	28%	147	49%	7	6%
試作開発費	188	38%	3	1%	△185	△98%
その他開発費	80	16%	29	10%	△51	△64%
その他	87	18%	123	41%	35	41%

(単位:百万円)

	16期1Q末	構成比	17期1Q末	構成比	増減率
流動資産	12,895	95%	11,624	92%	△10%
現金及び預金	6,700	49%	4,937	39%	△26%
有価証券	3,999	30%	3,999	32%	0%
売掛金	1,785	13%	1,653	13%	△7%
その他	409	3%	1,033	8%	152%
固定資産	659	5%	958	8%	45%
資産合計	13,554	100%	12,582	100%	△7%
流動負債	1,019	8%	711	6%	△30%
固定負債	12	0%	14	0%	15%
負債合計	1,031	8%	725	6%	△30%
純資産合計	12,523	92%	11,856	94%	△5%
負債・純資産合計	13,554	100%	12,582	100%	△7%

(単位:百万円)

	16期1Q	17期1Q
現金及び現金同等物の期首残高	13,309	10,427
現金及び現金同等物増加(△減少)額	△2,609	△1,490
営業キャッシュ・フロー	△1,576	△490
投資キャッシュ・フロー	△1	△110
財務キャッシュ・フロー	△1,030	△889
現金及び現金同等物の期末残高	10,700	8,936

営業キャッシュ・フロー関係

税引前純利益 : 523百万円  
 売上債権の増加 : 800百万円  
 たな卸資産の増加 : △125百万円  
 その他流動資産の増加 : △115百万円  
 その他流動負債の減少 : △181百万円

投資キャッシュ・フロー関係

無形固定資産の取得による支出 : △13百万円  
 有形固定資産の取得等による支出 : △96百万円

財務キャッシュ・フロー関係

配当金の支払額 : △889百万円

(単位:百万円)

	単体	売上比	連結	売上比	増減額	増減率
売上高	1,943	100%	1,943	100%	0	0%
売上原価	852	44%	852	44%	0	0%
売上総利益	1,090	56%	1,090	56%	0	0%
販売費及び 一般管理費	573	30%	742	38%	169	30%
営業利益	517	27%	347	18%	△169	△33%
経常利益	523	27%	353	18%	△170	△32%
当期純利益	353	18%	183	9%	△170	△48%
包括利益	-	-	177	9%	-	-

(単位:百万円)

	単体	構成比	連結	構成比
流動資産	11,624	92%	11,725	94%
現金及び預金	4,937	39%	5,030	40%
有価証券	3,999	32%	3,999	32%
売掛金	1,653	13%	1,653	13%
その他	1,033	8%	1,041	8%
固定資産	958	8%	708	6%
資産合計	12,582	100%	12,434	100%
流動負債	711	6%	749	6%
固定負債	14	0%	14	0%
負債合計	725	6%	763	6%
純資産合計	11,856	94%	11,670	94%
負債・純資産合計	12,582	100%	12,434	100%

(単位:百万円)

	単体	連結
現金及び現金同等物の期首残高	10,427	10,427
現金及び現金同等物増加(△減少)額	△1,490	△1,633
新規連結に伴う現金同等物増加(△減少)額	-	236
営業キャッシュ・フロー	△490	△633
投資キャッシュ・フロー	△110	△110
財務キャッシュ・フロー	△889	△889
現金及び現金同等物の期末残高	8,936	9,029

## 営業キャッシュ・フロー関係

税引前純利益 : 353百万円  
売上債権の増加 : 800百万円  
たな卸資産の増加 : △125百万円  
その他流動資産の増加 : △115百万円  
その他流動負債の減少 : △146百万円

## 投資キャッシュ・フロー関係

無形固定資産の取得による支出 : △13百万円  
有形固定資産の取得等による支出 : △96百万円

## 財務キャッシュ・フロー関係

配当金の支払額 : △889百万円

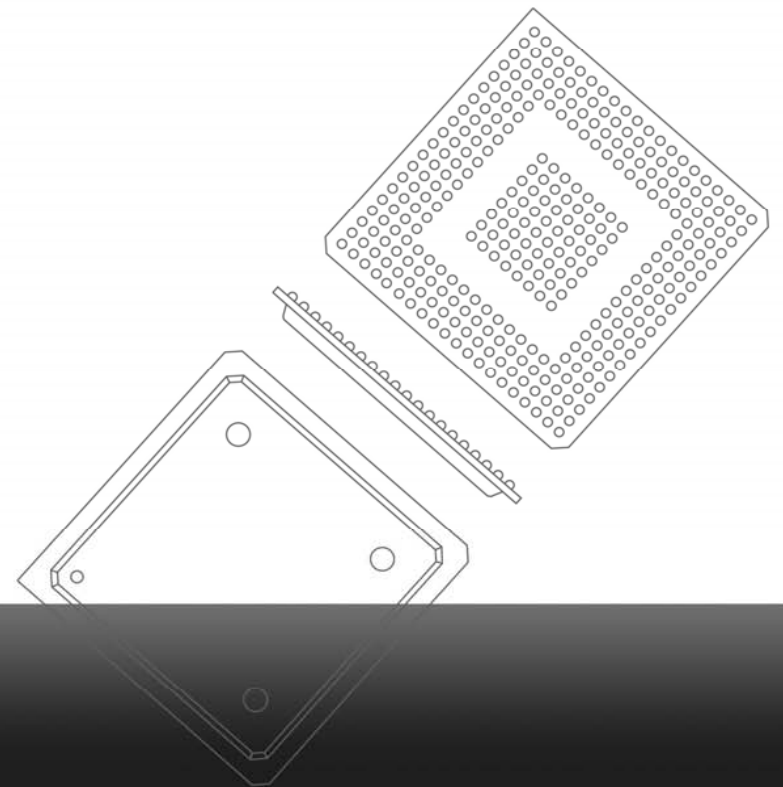
(単位:百万円)

	1Q実績	売上比	2Q計画	売上比	差額	進捗率
売上高	1,943	100%	3,700	100%	1,756	53%
売上原価	852	44%	1,700	46%	847	50%
売上総利益	1,090	56%	2,000	54%	909	55%
販売費及び 一般管理費	742	38%	1,700	46%	957	44%
営業利益	347	18%	300	8%	△47	116%
経常利益	353	18%	300	8%	△53	118%
当期純利益	183	9%	180	5%	△3	102%

証券コード 6730

## 補足資料

### 第17期の業績計画(4月26日開示)



## 遊技機器市場の動向

国内経済の長期低迷、低料金営業の普及等による遊技ホールの収益性の低下  
 定番機種・大型機種などの一部機種に需要が集中

当社製品を含む遊技機器構成部品のリユース(再使用) → AG301に影響

東日本大震災の影響

- ・東北地方沿岸部所在ホールの被災
- ・節電対応によるホールの営業時間短縮等
- ・一部地域における遊技機器の入替自粛の動き
- ・被災地に製造拠点のある部材部品の供給停滞

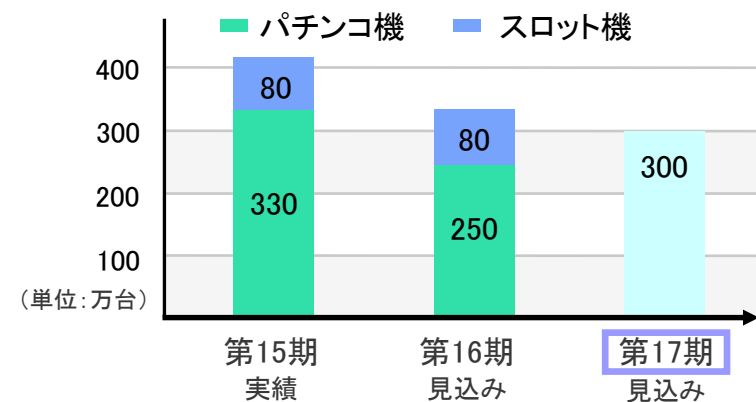


第17期業績予想の前提

遊技機器年間販売台数 → 300万台

「AG301」のリユース → 60万個程度

遊技機器年間販売台数の当社想定



※遊技機器の年間販売台数は、調査機関の公表データと当社分析による数字です。

(単位:百万円)

	第16期	売上比	第17期計画	売上比	増減額	増減率
売上高	8,199	100%	8,200	100%	0	0%
売上原価	3,742	46%	3,900	48%	157	4%
売上総利益	4,456	54%	4,300	52%	△156	△4%
販売費及び一般管理費	2,888	35%	3,100	38%	211	7%
営業利益	1,568	19%	1,200	15%	△368	△24%
経常利益	1,584	19%	1,200	15%	△384	△24%
当期純利益	1,043	13%	800	10%	△243	△23%

## 売上高8,200百万円を計画

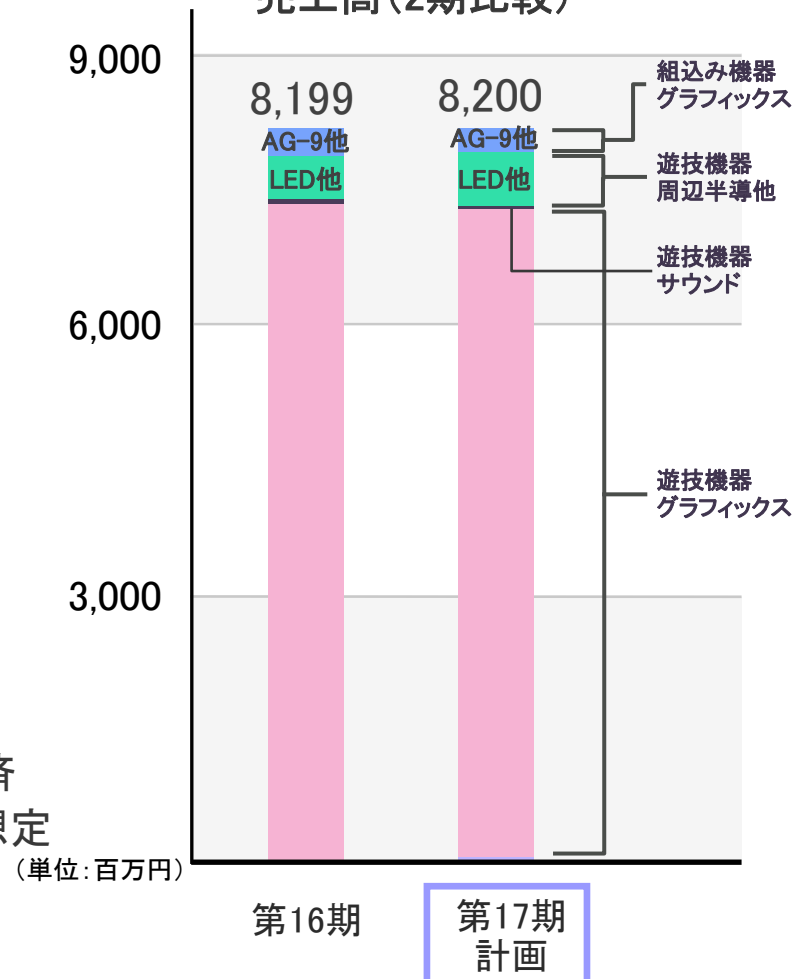
AMグラフィックスLSI: 7,280百万円(65百万円減)

- ・販売個数 : 142万個 → 132万個
- ・「AG-4」シリーズの量産開始(第1四半期より)  
通期で25%強の販売を見込む  
(AG333は30%弱) ※個数ベース

その他: 920百万円(65百万円増)

- ・サウンドLSI : 統合化製品のサウンド機能取り込み、顧客需要動向により減少
- ・LEDドライバLSI : 特定顧客の需要増加を見込む
- ・EMグラフィックス : 回復傾向を示していたものの経済状況を考慮し、若干の需要減を想定

### 売上高(2期比較)



(単位:百万円)

	第16期	構成比	第17期	構成比	増減額	増減率
販売費及び一般管理費	2,888	100%	3,100	100%	211	7%
人件費	536	19%	520	17%	△16	△3%
研究開発費	1,767	61%	1,930	62%	162	9%
その他	584	20%	650	21%	65	11%



(単位:百万円)

研究開発費内訳	第16期	構成比	第17期	構成比	増減額	増減率
研究開発費 総額	1,767	100%	1,930	100%	162	9%
人件費	628	36%	630	33%	1	0%
試作開発費	557	32%	360	19%	△197	△35%
その他開発費	207	12%	370	19%	162	78%
その他	373	21%	570	30%	196	53%

※第17期の主な試作開発：AG11他

(単位:百万円)

	第16期2Q	売上比	第17期2Q	売上比	増減額	増減率
売上高	3,950	100%	3,700	100%	△250	△6%
売上原価	1,810	46%	1,700	46%	△110	△6%
売上総利益	2,139	54%	2,000	54%	△139	△7%
販売費及び一般管理費	1,484	38%	1,500	41%	15	1%
営業利益	655	17%	500	14%	△155	△24%
経常利益	662	17%	500	14%	△162	△25%
当期純利益	428	11%	340	9%	△88	△21%

## 2Q累計売上高3,700百万円を計画

AMグラフィックスLSI: 3,320百万円(171百万円減)

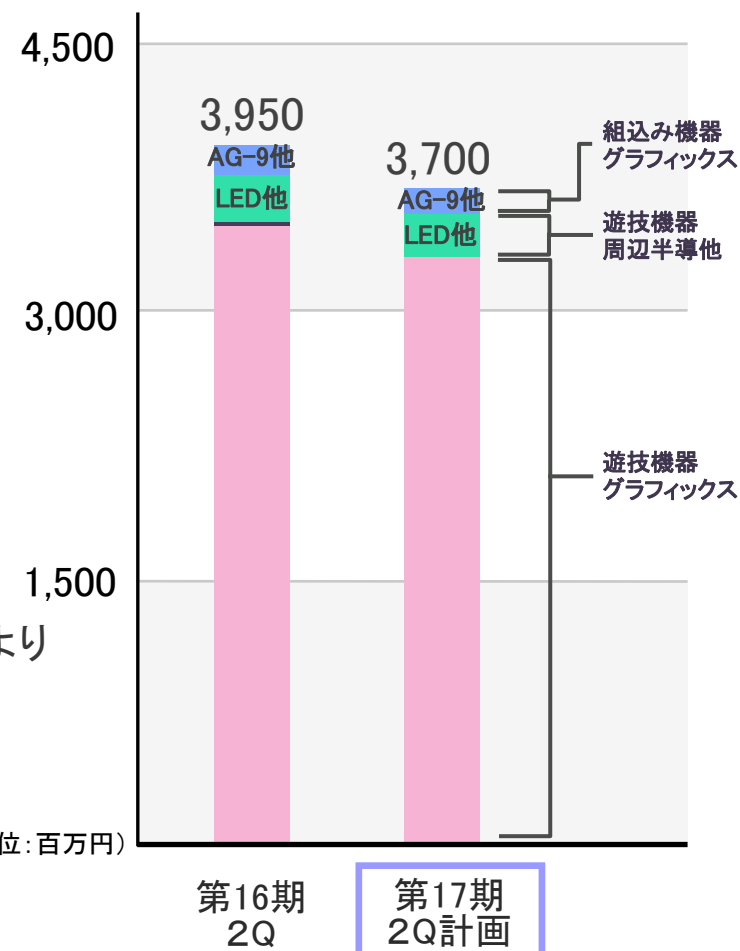
- ・販売個数 : 67万個 → 63万個
- ・「AG-4」シリーズの量産開始(第1四半期より)  
2Q累計で20%弱の販売を見込む  
(AG333は25%程度) ※個数ベース

その他: 380百万円(78百万円減)

- ・サウンドLSI : 統合化製品のサウンド機能取り込み、顧客需要動向により減少
- ・LEDドライバLSI : 2Q累計では特定顧客の需要動向により減少を見込む
- ・EMグラフィックス : 回復傾向を示していたものの経済状況を考慮し、若干の需要減を想定

(単位:百万円)

### 売上高(2期比較)



(単位:百万円)

	第16期2Q	構成比	第17期2Q	構成比	増減額	増減率
販売費及び一般管理費	1,484	100%	1,500	100%	15	1%
人件費	249	17%	255	17%	5	2%
研究開発費	927	62%	925	62%	△2	△0%
その他	308	21%	320	21%	11	4%

(単位:百万円)

研究開発費内訳	第16期2Q	構成比	第17期2Q	構成比	増減額	増減率
研究開発費 総額	927	100%	925	100%	△2	△0%
人件費	276	30%	300	32%	23	9%
試作開発費	361	39%	190	21%	△171	△47%
その他開発費	117	13%	165	18%	47	40%
その他	171	19%	270	29%	98	57%

※第17期2Q(累計)の主な試作開発 : AG11他

## 配当額の決定方針

株主還元については配当を基本として実施

業績に連動した配当の実施

(配当性向主義:算定の基礎は単体ベース → 配当性向50%)

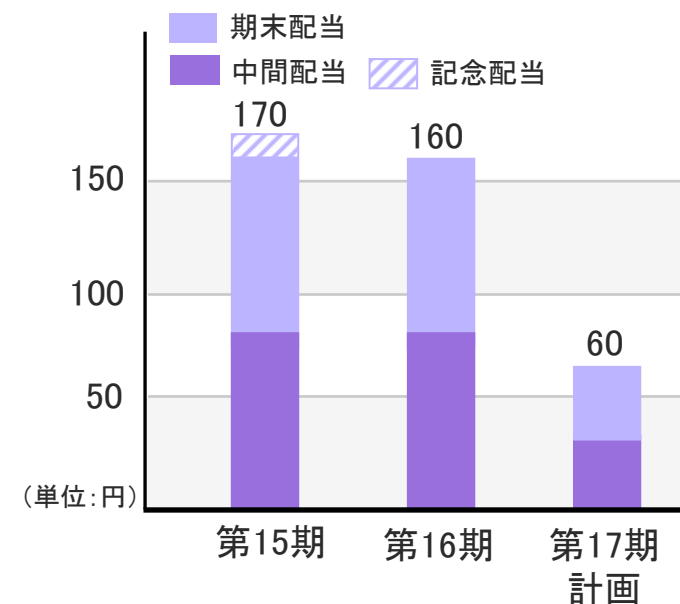
剰余金等の状況(販管費の3年分は内部留保)を勘案した上で、過年度の配当額を考慮した安定配当の実施

## 配当実施状況及び計画

	第15期	第16期	第17期計画
1株当たり配当額	170円	160円	60円
中間配当	80円	80円	30円
期末配当	80円	80円	30円
記念配当	10円 <sup>※</sup>	—	—
配当性向	55%	190%	93%

※東証上場記念配当を実施

## 1株当たり配当金の推移



(単位:百万円)

	単体	売上比	連結	売上比	増減額	増減率
売上高	8,200	100%	8,200	100%	0	0%
売上原価	3,900	48%	3,900	48%	0	0%
売上総利益	4,300	52%	4,300	52%	0	0%
販売費及び一般管理費	3,100	38%	3,350	41%	250	8%
営業利益	1,200	15%	950	12%	△250	△21%
経常利益	1,200	15%	950	12%	△250	△21%
当期純利益	800	10%	550	7%	△250	△31%

連結対象となるニューゾーン社の平成24年3月期の業績予想におきましては、将来の成長に向けた研究開発費が先行して計上される計画となっております。

(単位:百万円)

	単体	売上比	連結	売上比	増減額	増減率
売上高	3,700	100%	3,700	100%	0	0%
売上原価	1,700	46%	1,700	46%	0	0%
売上総利益	2,000	54%	2,000	54%	0	0%
販売費及び一般管理費	1,500	41%	1,700	46%	200	13%
営業利益	500	14%	300	8%	△200	△40%
経常利益	500	14%	300	8%	△200	△40%
当期純利益	340	9%	180	5%	△160	△47%

連結対象となるニューゾーン社の平成24年3月期の業績予想におきましては、将来の成長に向けた研究開発費が先行して計上される計画となっております。

## 今後の遊技機器市場向け製品戦略

### グラフィックスLSIとしての基本機能の向上

- よりゲーム性を演出する多様なエフェクト機能  
多彩な表現を可能にする高速描画等

### 顧客のシステムコスト低減

- 統合化チップの推進(基板サイズ縮小、共通部品の削減等)  
圧縮性能の更なる向上(メモリコストの削減)  
システムを意識した製品開発

### 顧客サイドの開発効率化

- より高度な開発支援環境を提供  
画像、サウンドに加えて、LEDツールを含めた開発環境の更なる充実



## 遊技機器1台当たりに対する技術的貢献の拡大

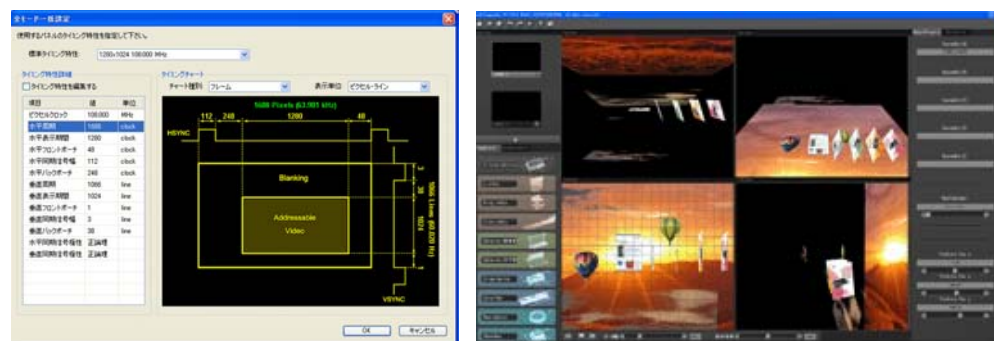
※YAMAHA社との訴訟については、特段の進展はありません。  
引き続き、裁判で当社 の正当性を主張して行く方針です。

## 組み込み機器市場向け製品戦略

AG-9シリーズの拡販：着実な営業活動の継続

AG10の量産：ターゲット顧客(POS、ATM等)向けの拡販活動を推進

- ・ボードベンダーとの関係強化(オムロン社、DUX社、DFI社等)
- ・技術サポートや保守の充実
- ・オーサリングツールの開発



(左)開発環境、オーサリングツールの画面イメージ

海外展開を見据えた次世代製品の開発:

「AG11」の開発(インテル社との共同マーケティング等)

## 株式会社ニューゾーンの設立

業態：プロジェクトの発掘からプロットプランの作成、遂行、管理

→ 専門分野ごとに最適な連携企業を選定し、外部リソースの活用による規模感のある事業展開

第1弾プロジェクトとしてデジタル簡易無線に向けた製品を開発

## デジタル簡易無線の特徴

デジタル化によりデータ伝送の用途が拡大(2008年8月からデジタル化開始)

PHS・携帯電話等のような毎月の使用料が掛からない(低コストにより市場拡大)

使用場所・用途が自由、直接の通信範囲が長距離

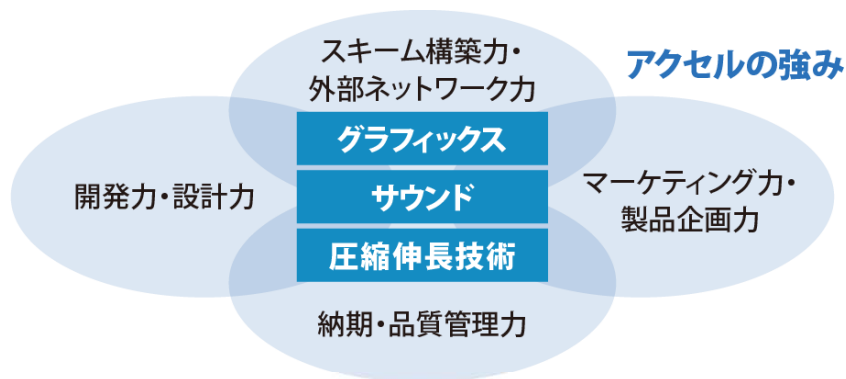
## 開発中の製品

高圧縮Codec内蔵グラフィックスLSI

高圧縮・低ビットレートで鮮明な画像伝送

無線機用LSI

データ伝送に適した組み込み向け無線機を実現



半導体技術を核とする新ビジネスの創出

子会社「ニューゾーン」を設立



## アクセルの事業領域

### 遊技機器市場

年間300万台~の大市場

パチンコ機

パチスロ機

機能統合LSI

グラフィックスLSI

サウンドLSI

その他周辺LSI

### その他組み込み機器市場

多種、小~中規模

POSシステム

医療機器

券売機

大型建機

FA機器

電子看板

情報端末

グラフィックスLSI

グラフィックスボード

## ニューゾーンの事業領域

### 既存市場に拘らない新市場の創出

将来性のある市場での先行開発

1stプロジェクト  
無線関連

市場A

市場B

市場C

市場D

市場E

市場F

各種LSI

ボード製品

最終製品

## 中期的な成長イメージ

成長イメージは遊技機器の年間販売台数が300万台程度となることを前提として策定

### 今後の成長ドライバ

#### 遊技機器市場

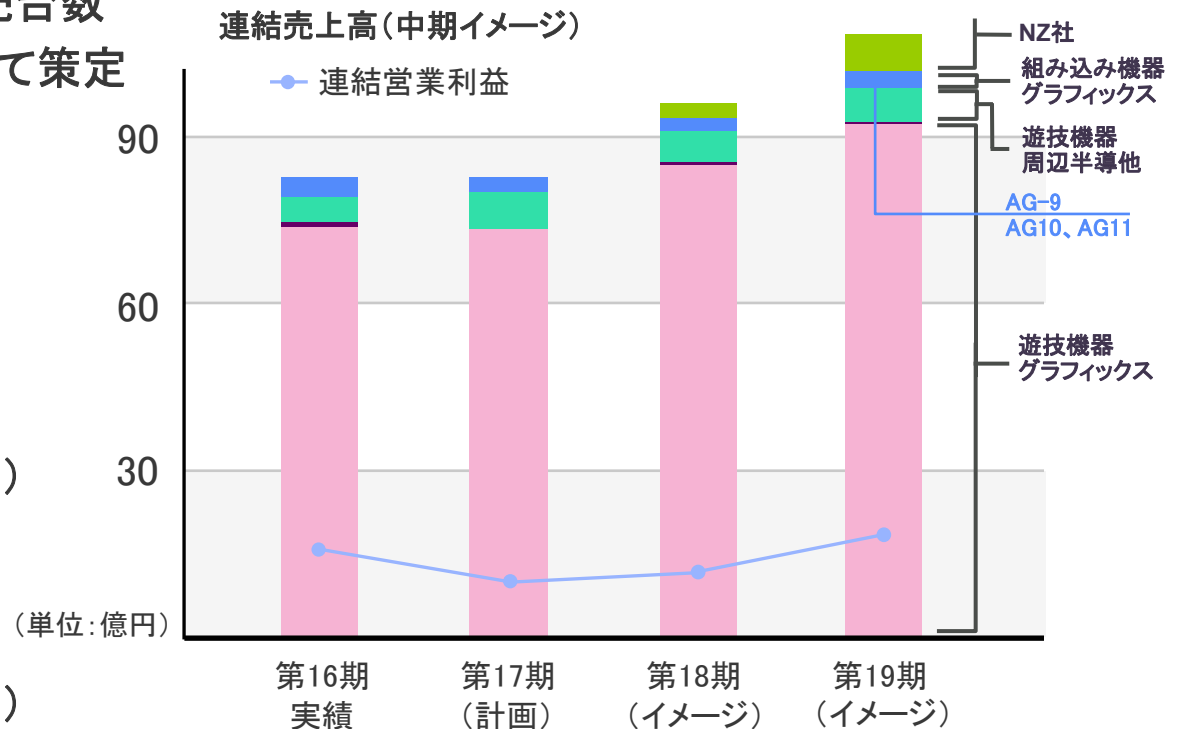
- 「AG-4」シリーズへの移行
- LEDドライバLSIの販売拡大
- 「AG-5」の開発(第20期以降の量産)

#### 組み込み機器市場

- x86系CPU対応「AG10」の販売
- 「AG11」の開発(第19期以降の量産)

#### 子会社による新規事業開拓

- デジタル簡易無線向け製品展開
- その他分野への取り組み



### 上記の前提

AM-GLSI 販売数量	142万個	132万個	145万個	152万個
リユース	70万個	60万個	50万個	40万個
遊技機器 年間販売数	330万台	300万台	300万台	300万台

本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。

